伸縮はしご
（MW−A型）

取扱説明書

伸縮はしご

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を **よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。

- はしごは、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、はしごの安定した状態を確認してください。
- はしごは、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- はしごを使うときは、大人の補助者がはしごをしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

禁止

このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。

強制

このマークは、強制(必ずすること)を示します。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動･設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

可動部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部で手をはさむ恐れがあることを示します。

この面は裏面です 使用禁止

裏面を使うと踏ざんから足を滑らせて、転落する恐れがあることを示します。

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

各部のなまえ

※1、ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2、ラベルナンバーは、ラベルの右下に載されています。
3、ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1.使用条件について

⚠警告　**はしごとしての用途以外の使いかたをしないでください。**

禁止

この製品は、建物などに立て掛けて、高い所に昇り降りする用途に作られた「はしご」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告　**はしごを使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。**

強制

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。
また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

⚠警告　**この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。**

強制

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告　**はしごを加工や改造しないでください。**

禁止

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠警告　**お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。**

禁止

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

禁止

●疲れているとき
●薬やお酒を飲んだとき
●病気や妊娠しているとき
●身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 使用に適した服装で使ってください。

強制

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

⚠注意 お使いになるときは、作業帽（ヘルメットなど）を着用してください。

強制

⚠注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

禁止

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（2ページを参照）をご連絡ください。

⚠注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

強制

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2.ご使用になる前に

⚠警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検（12・13ページを参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

強制

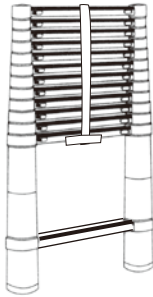
異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告 変形したはしごを、使わないでください。

禁止

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3.運ぶときは

⚠注意 持ち運びは、はしごを縮め付属のベルトで固定してください。はしごが伸びて、事故を起こす恐れがあります。

⚠注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

禁止

製品が変形したり、亀裂が入り、使用中に折れる恐れがあります。

⚠注意 はしごを持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

禁止

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4.設置する場所について

⚠危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 はしごが安定しない場所には、設置しないでください。

禁止

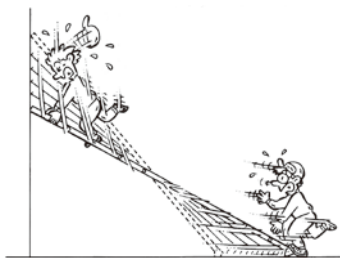
設置場所が下記の状態では、はしごが傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- ●やわらかい地面や壁で、はしごが安定しない場所。
- ●段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- ●支柱の片側かジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- ●傾斜している地面や床、屋根の上。
- ●積雪している場所。
- ●その他、安定しない場所。

⚠警告 はしごが滑りやすい場所には、設置しないでください。

禁止

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

●滑りやすいビニール製の床･タイル･鉄板の上。
●濡れている場所。
●滑りやすいタイル･ガラスなどの壁。
●積雪や凍結している場所。
●砂･ごみ･ほこり･落葉などで滑りやすい場所。
●その他、滑りやすい場所。

⚠警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください

禁止

出入りする人や開けたドアで、はしごが倒されて転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

禁止

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

禁止

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。

禁止

転落や転倒の恐れがあります。

5.はしごを伸ばしたり、縮めたりするとき

⚠警告 **はしごの支柱を伸ばしたとき、全ての伸縮ロックを確実にロックしてください。**

強制

支柱を伸ばして使用状態にするとき、各踏ざんの左右にある伸縮ロックが確実にロック状態であることを十分確かめてください。伸ばし方が不十分で伸縮ロックがかかっていない状態で使用すると支柱が縮んで、転倒や転落の重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 **はしごを縮めるときは、踏ざんの間に手や指などを絶対に置かないでください。**

禁止

踏ざんと踏ざんの間に手や指などがはさまれて、重大な事故の恐れがありますはしごを縮めるときは、踏ざんの間に手や指などを絶対に置かないでください。

⚠注意 **はしごを伸ばすときは、屋根のひさし・棚などにぶつけないように注意してください。**

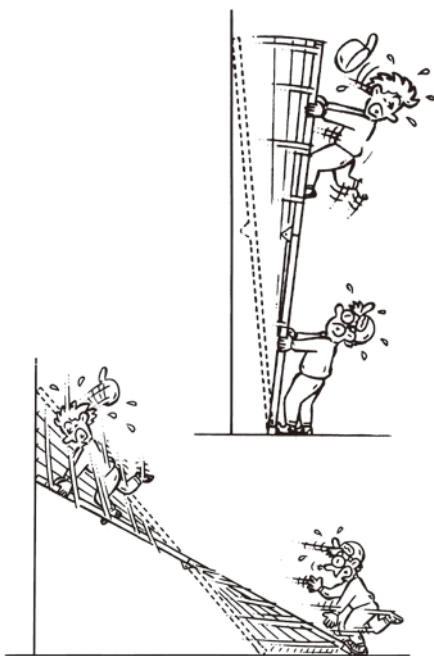
強制

ぶつけると破片の落下などによる事故やはしごの破損の原因になります。

6.はしごを立て掛けるとき

⚠危険 **はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。**

強制

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 **はしごの裏面は、絶対に使わないでください。**

禁止

足を滑らせ転落する恐れがあります。

⚠警告 **建物の屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物の接点が、上から2段目と3段目の踏ざんの間が理想的です。**

強制

はしごを建物の接点から長く突き出しすぎると、はしごから屋根に乗り移る場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしご上の使用者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

⚠警告 **建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の踏ざんには乗らないでください。**

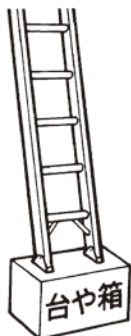
身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごを水平にして使わないでください。**

はしごが破損して、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。**

禁止

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **建物のはりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。**

禁止

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **電柱や木など丸いものには立て掛けないでください。**

禁止

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 **はしごを吊り下げて使用しないでください。**

禁止

製品が破損したり、不安定になり転倒や転落の恐れがあります。

7.はしごを昇り降りするときは

⚠危険 **使用中は伸縮ロックを操作しないでください。**

禁止

使用中に各踏ざんの左右にある伸縮ロックを操作しないでください。ロックが解除され、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に、体重をかけないでください。

はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 屋根の上からはしごを移動しないでください。

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 同時に2人以上乗らないでください。

禁止

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごを背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。

禁止

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。

禁止

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、はしごを昇り降りしないでください。

禁止

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 はしごの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

禁止

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がったり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。

禁止

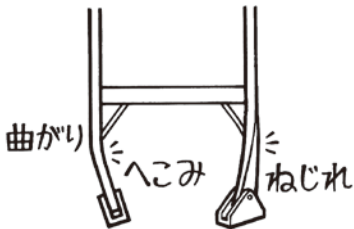
傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

ご使用前の点検

はしごをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

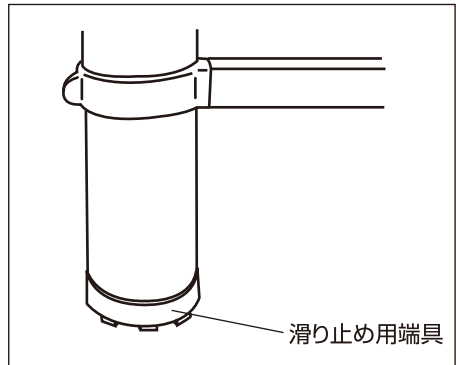
1.目で見て、下記の点検をしてください。

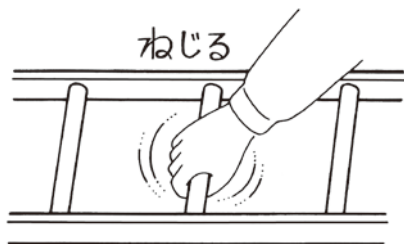
❶ 踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
（21ページを参照）

❷ 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸ 踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❺ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❻ 滑り止めが外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**でください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止め用端具と交換してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

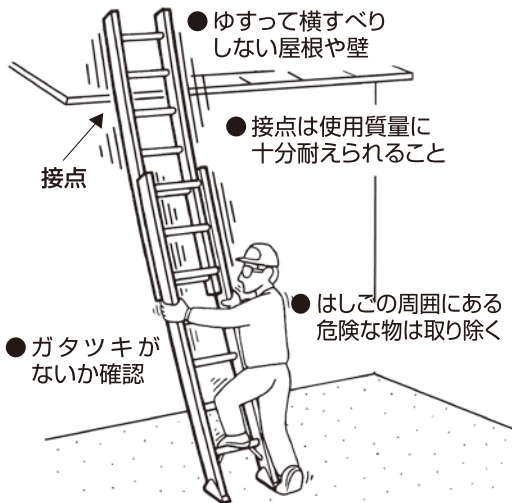
❶ 各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は**絶対に使わない**で廃棄してください。

はしごの使いかた

1.設置場所について

● ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またはしごが埋もれない場所を選んで設置してください。

● 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。

● はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。

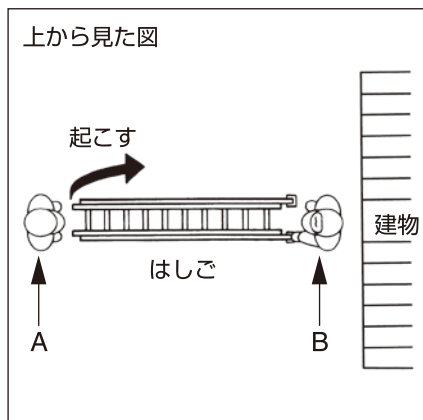
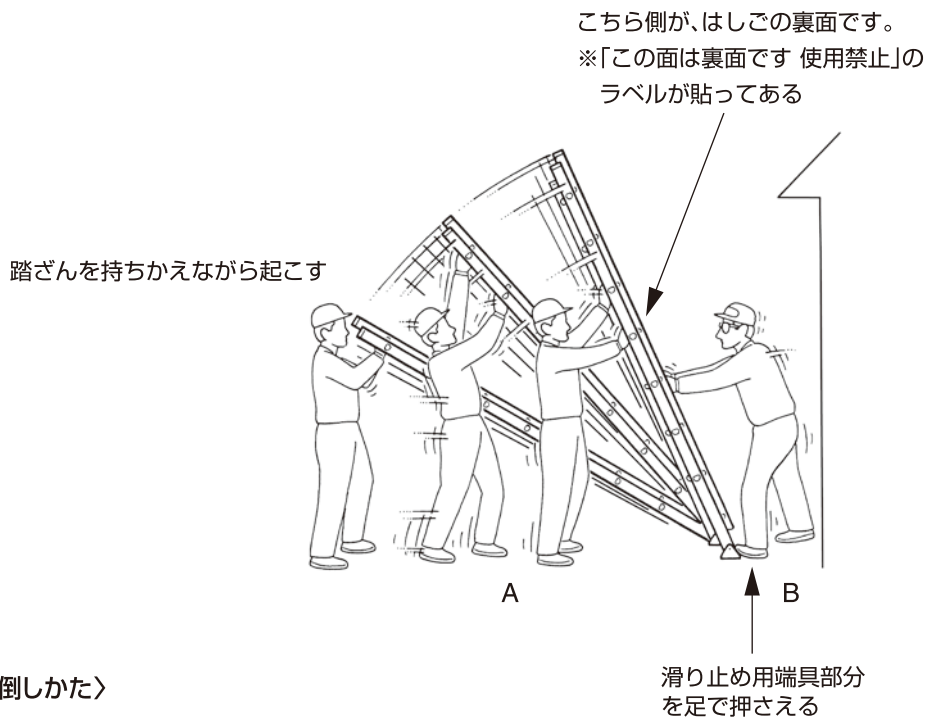
● はしごとの接点が使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください。

● ガタツキがない安定した場所
● 滑らない場所
● はしごが埋もれない場所
● 雨や水のかからない場所

2.起こしかた･倒しかた

作業は2人で行ってください。

〈起こしかた〉

❶ 昇る建物に対して、はしごと2人の作業者は右図の位置になります。

❷ 建物側の人(B)は、はしごが動かないように滑り止め用端具部分を足で押さえ、もう一方の人(A)が踏ざんを持ちかえながら、ほぼ垂直まで起こしてください。

〈倒しかた〉

❶ 2人の作業者が向かい合って立ち、建物側の人(B)が、滑り止め用端具部分を足で押さえてください。

❷ もう一方の人(A)が、はしごの踏ざんを持ちかえながら倒してください。

3. 立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2人で行ってください。

❶はしごの表面が使えるように立て掛けてください。

※裏面には「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。

❷はしごの立て掛け角度を約75度に調整します。

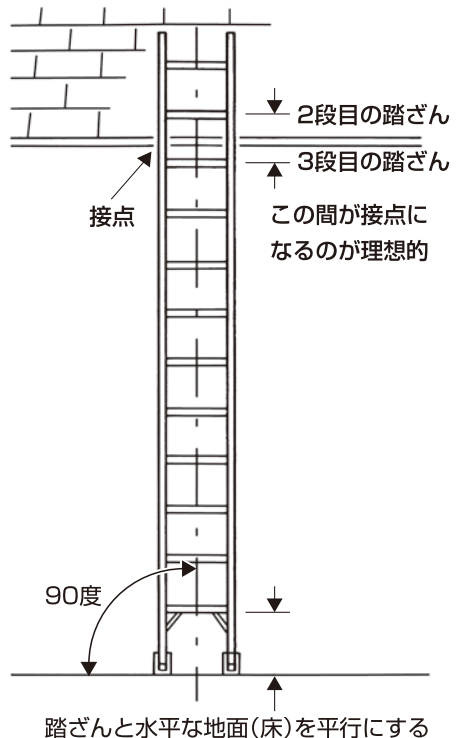
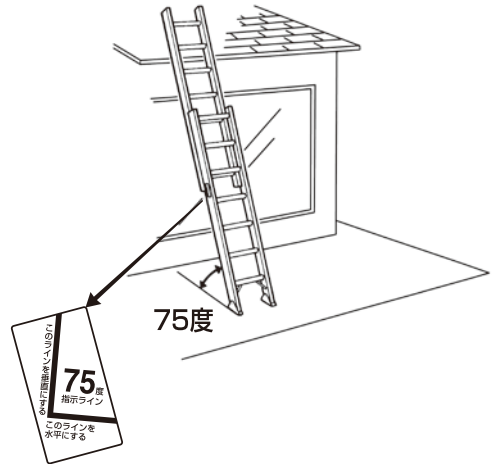
※75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平な地面（床）・垂直な建物と平行になるようにしてください。

❸はしごを正面から見て、まっすぐ(水平な地面に90度)に立て掛けてください。

❹屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物との接点が、上から2段目と3段目の踏ざんの間が理想的です。

※上記以上にはしごが接点から突き出てしまうときは、補助者が特に注意してはしごを押さえてください。また、はしご上の使用者は、接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

4.操作のしかた

注意 強制

はしごを伸ばす時は、2人で、はしご本体を横に倒して作業をしてください。

〈伸ばしかた〉

❶ はしごを横にして（B）の人が左右の滑り止め端具上部の支柱を持ちます。もう一方（A）の人は最上段の踏ざんを持ち、引き出します。
（図1参照）

❷（A）の人が最上段の踏ざんを引き上げ、「カチッ」と音がするまで左右の支柱を伸ばしてください。この動作を、一段ごとに繰り返して最後まで伸ばしてください。

❸ 全ての支柱を確実にロックするため、すべて伸ばした状態のまま（A）、（B）両者側へそれぞれ強く引っ張ってください。
（図2参照）

❹ 全ての支柱が確実にロックされていることを確認してください。

※ 伸縮ロックが図3の（C）の状態で赤いラインが見えている時はロックされておりません。伸縮ロックが必ず図3の（D）の状態になって確実にロックされ、赤いラインが見えない状態になっていることをご確認ください。

図1

図2

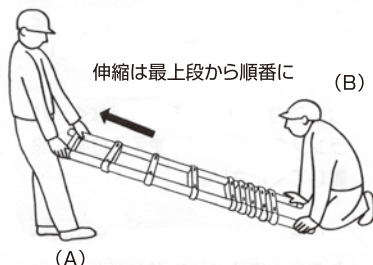
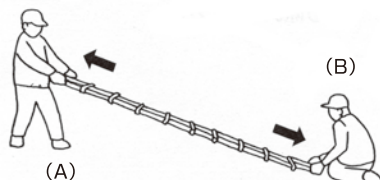
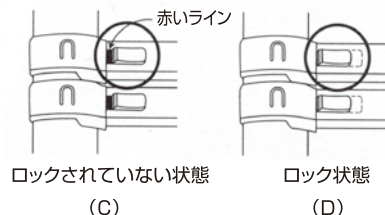
図3

ロックされていない状態
（C）

ロック状態
（D）

注意

強制

はしごの操作ははしごを立てて1人で1段づつ伸縮することもできますが、はしごのバランスをくずして重大な事故を起こすおそれがありますので十分ご注意ください。また、1人で操作する際も必ず事前にすべての伸縮ロックが確実にロック状態になっていることを十分ご確認の上ご使用ください。

〈中間の長さで使うとき〉

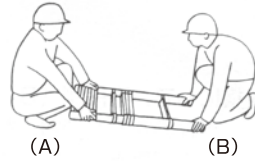
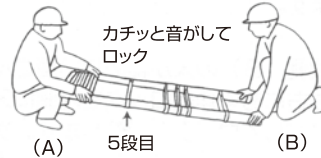
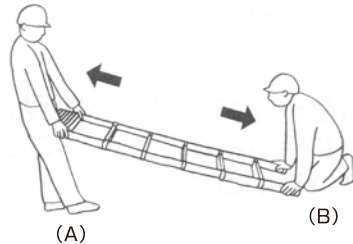
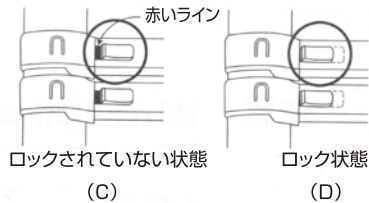
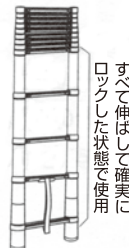
❶ はしごを横に倒して（B）の人が左右の滑り止め端具上部の支柱を持ちます。（A）の人がご使用になりたい長さの一段上（右図の場合は下から6段目）の踏ざんの外側両サイドを持ち、引き出します。

❷（A）の人がご使用になりたい長さの最上段（右図の場合は5段目）の踏ざんが「カチッ」とロックするまで左右の支柱を伸ばしてください。この動作を上から順番に一段ごとに繰り返して最後まで伸ばしてください。

❸ 全ての支柱を確実にロックするため、中間の長さで伸ばした状態のまま（A）、（B）両者側へそれぞれ強くひっぱってください。すべての支柱が確実にロックされていることを確認ください。

※ 伸縮ロックが図3の（C）の状態で赤いラインが見えている時はロックされておりません。伸縮ロックが必ず図3の（D）の状態になって確実にロックされ、赤いラインが見えない状態になっていることをご確認ください。

図3

⚠**注意** はしごの操作ははしごを立てて1人で1段づつ伸縮することもできますが、はしごのバランスをくずして重大な事故を起こすおそれがありますので十分ご注意ください。また、1人で操作する際も必ず事前にすべての伸縮ロックが確実にロック状態になっていることを十分ご確認の上ご使用ください。

⚠**注意** はしごを縮めるときは、踏ざんの間に手や指などを絶対に置かないでください。

⚠**注意** はしごを中間の長さで使用する際は、使用しない踏ざんは上部に重ねた状態にしてください。

（図4参照）

上部に重ねた状態でそれより下段についてはすべて伸ばした状態でご使用ください。

図4

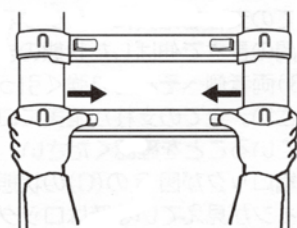
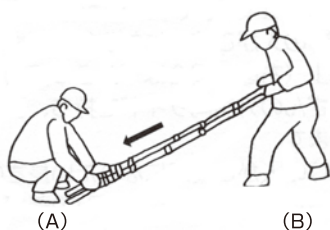
〈縮めかた〉

注意

はしごを縮めるときは、必ずはしご本体を横に倒して作業をしてください。

❶ はしごを横にして、下段側(A)の人が最下段支柱の左右を持ち、もう一方(B)の人が最上段の支柱を持ちます。

❷ 下段側(A)の人が縮めたい踏ざんの左右にある伸縮ロックを内側にスライドしてロックを解除します。次にもう一方(B)の人がはしごの最上段支柱の先端を押し、縮めます。

注意

はしごを縮めるときは、踏ざんの間に手や指などを絶対に置かないでください。

❸ ❷の操作を繰り返し1段づつ順次ロックを解除していきます。

注意

はしごの操作は、はしごを立てて1人で1段づつ縮めることもできますが、はしごのバランスをくずして重大な事故を起こす恐れがありますので十分ご注意ください。また、1人ではしごを縮める作業をする際、特にいきおいよくはしごが縮まりますので、踏ざんの間に手や指などを絶対に置かないでください。

※ 1人ではしごを立てて縮める際、最上段のみロックを解除しても自重が軽いため、自動的に縮まない場合があります。その際は最上段の踏ざん上部を軽くおさえていただきますと縮みます。

5. 昇りかた・降りかた

- はしごは、表面と裏面があります。昇る前に表面であることを確認してください。裏面には、「この面は裏面です　使用禁止」のラベルが貼ってあります。
- はしごへ昇る前に、**必ずすべての伸縮ロックが確実にロックされていることを確認**してください。　（17ページ図3参照）
- 運動靴など滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面をはしごに向け、両手･両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。
- **はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり支えて、安定させてください。**
- はしごを使って降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 昇り降りするときは、補助者が滑り止め用端具部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1.お手入れのしかた

はしごにとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

❶汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。

❷汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

2.保管のしかた

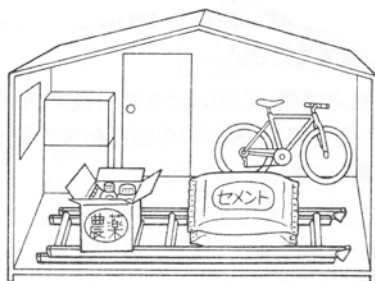
❶雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食やロープ等の劣化により、強度低下の原因になります。

❷本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

●保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。

●農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

禁止

「故障かな?」と思ったら(不調診断)

〈現象〉●持ち運びや使用中に、はしごがギシギシ鳴る。
●使ったときに、はしごが左右にグラグラする。
●買ったときより、ねじれかたが大きい。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉●設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
はしごの支柱が曲っていませんか。特に、上部や下部に曲がりやねじれがありませんか。	曲っている場合は、使わないで廃棄してください。
エンドキャップ(端具)が外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)
滑り止めが外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。 (弊社までご相談ください。)

〈現象〉●伸縮ロックが確実にロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮ロックが確実に掛りますか。	掛らない場合は、使わないでください。

「故障かな?」と思ったら(不調診断)

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。
一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

アルインコ株式会社
〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1
お客様相談室 0120-302-669
10:00〜16:00 ただし12:00〜13:00及び土・日・祝を除く

P17.04
736360101781